

あんげろす

不思議人（ふしぎびと）

私はとうとう、一年間聴講していた日本基督教団の認可神学校（夜間）の神学生になった。学問のコツが分かっているので、苦もなく一年間過ぎたが、それでもよく勉強した。入学に際して「実態として牧師をしている」ことをはっきりと神学校の側に伝えた。それが入れられて、我ながら快哉を感じている。今のところ何年かかっても、学ぶこと自体が目的である。キリスト教の集会を始めてもう四年になった。開始の順序が普通でないので、いろいろ言われもした。「新興宗教の教祖になるの？」「終末論とか、怪しい聖書の読み方をしているの？」それらの人々にとって私は「不思議人」だろうから、やむをえないが、心が痛まなかったわけではない。その意味では「不思議人」はもうこれで、卒業。しかし、こんな得にもならない人生の逆走こそが「不思議人」を一層証明していくだけで、私はどこまでも「不思議人」であり続けるのだろうか。

深谷美枝



第 39 号

2006. 3.